

## 公開研究会での質問への回答

学年	質 問	回 答
1 年	<p>① 毎時間、導入で事前アンケートの結果を見せているのですか？ 事前アンケートは、何週間前にとっていますか？</p>	<p>ご質問ありがとうございます。 事前アンケートは毎回やっているわけではありません。今回の事前アンケートは公開に向けての指導案作成締め切りがある関係で、9月に取りました。普段の授業では教材研究の際に検討してアンケートを実施したり、導入の際にその場で尋ねたりすることもあります。</p>
2 年	<p>① 事前と本時でどこを変えたのか？その理由。</p> <p>② 制作物にどれくらい時間がかかったか？今後の活用</p> <p>③ 教科等横断的デザインフォームは、年度当初に見直すと思うが、ブロックや学年で見通して作成したのか</p>	<p>① 事前で十分に価値に迫ることができたため、発問の変更は行っておりません。価値に迫るために最も適切な発問は何か、また、子供の思考に沿った流れになるようにと考えながら指導案を作成する時点で練りました。</p> <p>② 制作物の作成に必要な材料を集めることに一日、作成するのに3時間程度かけました。材料は、100円均一で簡単に揃うもので作成しています。 工程としては、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 春夏秋冬の木を拡大印刷する</li> <li>② 100円均一で購入した造花と紙粘土に色をつけた実を張り合わせる</li> <li>③ 板書用の長い通学路を色画用紙で作成する</li> </ol> <p>という順序です。我々の場合は、アイデアを絞る作業から時間を要したため、2日にわたりましたが、本提案通りに作成してもらえれば、2時間程度で作成できると思います。</p> <p>動画については、季節が感じられる音や環境を揃えるため、年度当初から学年教員で地域の環境にアンテナを高くもち、気付いた際に動画や静止画を撮り貯めていました。一度作成すれば今後もしばらく活用できるため、校内で共有しています。また、6年生を送る会で卒業生が郷土を振り返るための一つのきっかけとするために上映を予定しています。</p> <p>③ 教科横断デザインフォームは、第2学年の学習の見通しをもっている学年教員を中心に、関連性を確認し、年度当初に作成しました。</p>

	<p>④ 「わたしたちの町ではどうなの？」という教師の問いかけで、「コンビニがある」・・・とまた元の建物などに視点が戻ってしまったが、「それは違うよ」などの声が聞こえ子供同士の対話で修正があったように思う。事前授業では、どうだったか。</p> <p>⑤ 語彙力がすごかった。日頃の指導の工夫が知りたい。2年生の子供たちが自分の思いをどんどん発表していた。</p>	<p>④ 事前の授業でも同様に店や建物について触れている児童がおりました。今回の授業では、店や建物以外に視野を広げて町のよさを感じることを目標としていましたが、町のよさを感じる上で店や建物に着目することもまた適切であると考えています。地域の特徴として、通学路には住宅街が密集しており、商業施設としてはコンビニエンスストアが多いのが実情です。その特徴を教員が把握し、その他の視点を多く取り上げていくことで今回のように「もっと他にもこないところがあるよ。」と児童が深める発言をする様子が事前でも見られました。</p> <p>⑤ 児童の表現力向上のために、日頃から児童が発表したり伝え合ったりする機会を多く取り入れています。道徳科に限らず、発表者に対して「同じです。」や「似ています。」という反応をする児童に、自分なりの意見を伝えさせたり説明させたりと再度説明をさせています。同じ意見の者に再度自分なりの説明をさせることで、自然と別の表現や類似した語彙を用いて説明する姿が見られるようになります。この繰り返しによって、児童はさまざまな表現方法や語彙を獲得しているように思います。</p>
4年	<p>① 役割演技について ひろし役と佐々木さん役の両方を児童が演じていました。それまでの発問の流れだと、児童はひろしの気持ちになって考えていると感じましたが、佐々木さん役を児童に演じさせたのは、お互いに気持ちが良いという点をおさえるためでしょうか。それとも教師が役をやると、役割演技でひろし役や見ている児童など全体を見取ることが難しいからでしょうか。</p> <p>② 終末について ねらいにもある「誰にでも」真心をもって接しようという点を補完するために、本時ではことわざを用いたのかと推察しましたが、他に検討したり事前授業で行ったりした終末がありましたらご教授ください。</p>	<p>① 理由は3点あります。1点目は、ひろしだけでなく、佐々木さんの気持ちも考えさせることで、礼儀を尽くすことにより、された方も気持ちが良いということに気付かせたいと考えました。2点目は、児童が佐々木さんを演じる方が、教師が演じるより、よさがリアルに感じられるであろうと考えました。3点目は、演者がどんな気持ちになったのか、観客がどう感じたか、授業者が司会者の立場に徹し、話し合いを深めるという目的のため、ひろしと佐々木さんを児童に演じさせようと考えました。</p> <p>② 事前授業では、「親しき中にも礼儀あり」の話を具体的にしようと、担任が友達との待ち合わせに遅れていった話をしました。しかし、「規則の尊重」の価値に寄ってしまっているのではないかという御指導があり、公開ではストレートにことわざを活用することにしました。</p>

